

被爆 64 周年 8・6 ヒロシマ大行動実行委員会 御中

## 平和記念公園周辺での 8 月 6 日のデモ行進について

貴団体は、毎年 8 月 6 日に広島市内においてデモ行進をされているとお聞きしています。

表現の自由という視点で考えれば、何時何処で何を発言するかは自由であり、当然の権利ではありますが、広島市の立場は以下のとおりです。

御存知のとおり、8 月 6 日は、人類史上最初の原子爆弾が広島に投下された日であり、被爆者や原爆死没者の遺族をはじめ世界中の人々にとって、原爆死没者の霊を慰め世界の恒久平和を祈念する掛け替えのない日です。

特に、本市では、8 月 6 日を条例により「平和記念日」と定めており、原爆死没者の霊を慰めるとともに世界恒久平和の実現を祈念するため、世界中の多くの人々の参列のもと「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(平和記念式典)」を開催しています。

そうした平和記念式典の時間帯に大音量でアピールをされることは、心静かに原爆死没者の慰霊を行う被爆者や肉親を失った遺族の悲しみを、いやが上にも増す結果となりかねません。広島における 8 月 6 日の意味は表現の自由と同様に重要なものと考えています。

つきましては、こうした事実思いを致し、被爆者や原爆死没者の遺族をはじめとした多くの広島市民の心情に御配慮をいただき、式典の時間帯でのアピールは音量を絞るなど御配慮いただければ幸いです。

平成 21 年(2009 年) 7 月 31 日

広島市長 秋葉 忠利